

短 報

日本新産のスゲ属植物ラウススゲ (勝山輝男)

Teruo KATSUYAMA: *Carex stylosa* C. A. Meyer (Cyperaceae) Newly Found in Japan

1991年7月24日、北海道根室支庁羅臼町の羅臼湖に近い小さな高層湿原において、見なれないスゲ属植物を発見した。調べてみたところ、クロボスゲ節 Sect. *Atratae* に属す *Carex stylosa* C. A. Meyer と判明した。最近、北海道からは数種のスゲ属植物の帰化が報告されているが、本種が生えていた湿地はきわめて自然度が高く、帰化によるものとは考えられない。和名をラウススゲと新称し日本新産のスゲ属植物として報告する。

本種はいわゆる周北極要素のスゲでカムチャッカ半島、チュクチ半島、コリマ川流域、アリュシャン列島、アラスカ、ブリティッシュコロンビア、ラブラドル、ニューファンドランド、グリーンランド、ノルウェー北部に分布する。国立科学博物館に収められているスゲ属植物を調べてみたところ、シュミットスゲの東のなかから1929年に小泉秀雄が樺太で採集した本種の標本を見出した。これまで日本周辺の産地はカムチャッカ半島に限られていたが、北海道と樺太の分布が明らかになった。おそらく北海道は分布の南限と思われる。一見シュミットスゲに似ているので、これまで見逃されていたのかもしれない。シュミットスゲはアゼスゲ節に属し、柱頭は2個で果実は二稜形である。本種は柱頭は3個で果実是三稜形をしているので容易に区別できる。花柱基部が宿存し果胞の口部から突き出ていること、果胞の表面に黄褐色の光沢のある乳頭状突起があることも良い特徴である。

多年草。根茎は短く、叢生し、高さ20~40 cm。基部の鞘は濃褐色で葉身がなく、多少繊維に分解する。葉は幅1.5~3 mm。頂小穂は柄があり、線形で、長さ10~15 mm、雄性。側小穂は1~3個あり、下部のものには柄があり、円柱形で、雌性

ときに先端に短く雄花部があり、長さ5~15 mm、幅約5 mm。最下の苞は葉状、上部のものは葉身を欠き、無鞘。雄花の鱗片は赤褐色を帯び、倒卵形で、長さ2~3 mm。雌花の鱗片は黒紫色を帯び、卵形でやや鈍頭、長さ1.5~2.5 mm。果胞は熟すと膨らみ、長さ2~2.5 mm、二稜が目立つ他は無脈、表面は無毛で微細突起を密布し、嘴は短く、口部は全縁。果実は三稜形で長さ1.5~2 mm、花柱基部が0.7 mm位宿存し、果胞の口部から突き出る。柱頭は3。

Carex stylosa C. A. Meyer in Mem. Acad. St-Petersb. Sav. Etr. 1: 222 (1831); Kükenth., Cyper. Caric. 395 (1909); Hultén, Fl. Kamtchatka 192 (1927) et Fl. Alaska 258 (1968); Kreczetowicz, in Fl. U.S.S.R. 3: 209 (1935); Mackenzie in North Amer. Fl. 18: 359 (1935); Tutin et al, Fl. Europaea 5: 318 (1980); Calder et Taylor, Fl. Queen Charlotte Is. 250 (1964); Peschkova et Malyshev, Fl. Sibiriae 3: 109 (1990).

Specimens examined. Japan: Hokkaido, Rausu-cho, near Lake Rausa (T. Katsuyama, June 24, 1991, Kanagawa Prefectural Museum No. 95979). Russia: Sakhalin, Sisuka (H. Koidzumi, Aug. 3, 1929, TNS 214990). Canada: Queen Charlotte Islands, Graham Island (J.A. Calder, July 2, 1957, TNS 238037); Chaatl Island (J.A. Calder, June 25, 1957, TNS 238036).

Distr. Asia: Kamchatka, Chukch Peninsula, Kolyma River, Sakhalin (new to Sakhalin), and Hokkaido (new to Japan). Europe: northern Norway. North America: Alaska, Aleutian, British Columbia, Labrador, Newfoundland and Greenland.

(神奈川県立博物館)

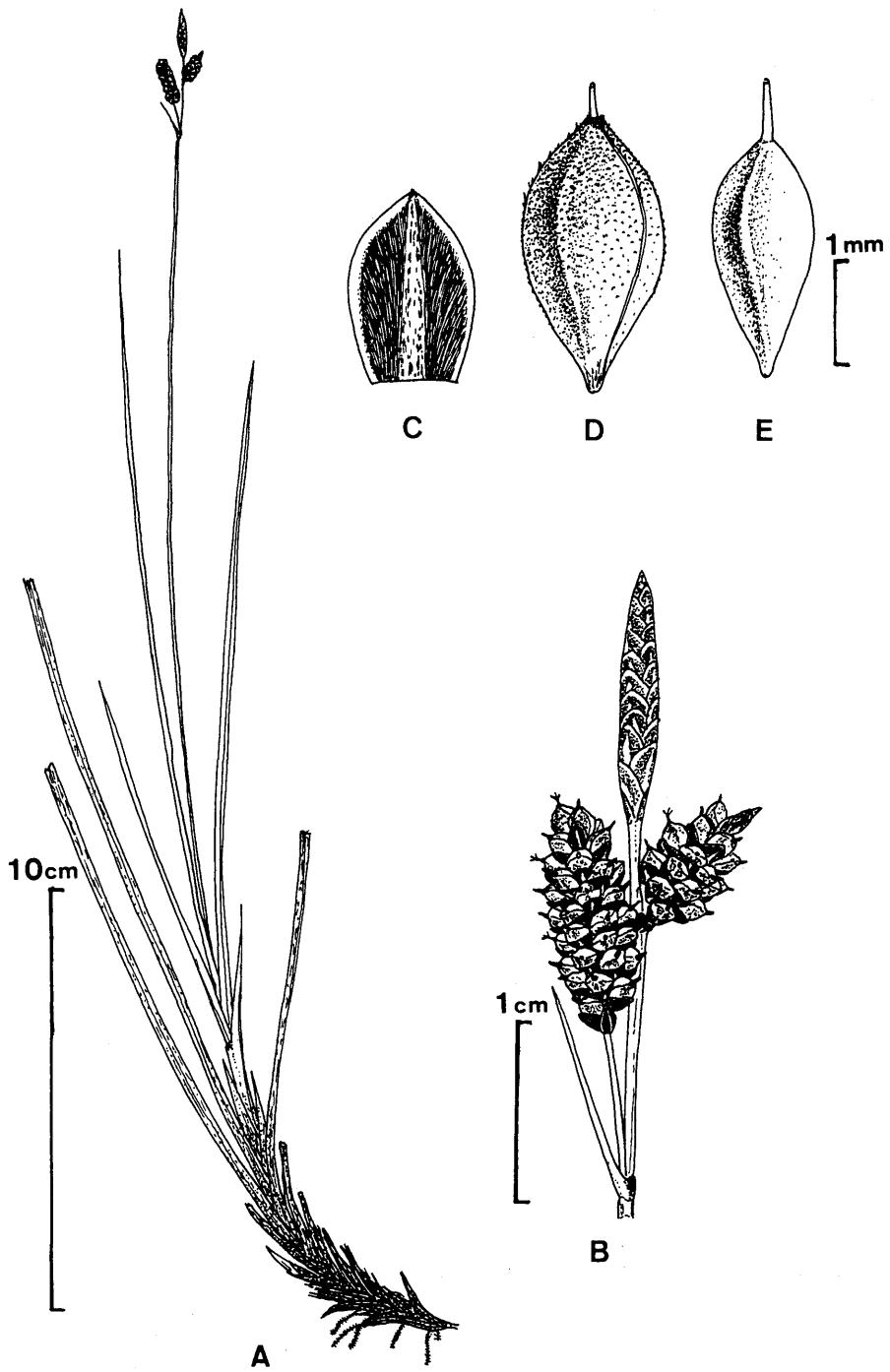


Fig. 1. *Carex stylosa* C.A. Meyer A: Habit, B: Spikelet, C: Pistillate scale, D: Utricle, E: Nut.